

目 次

1. 研究の背景・目的.....	1
1.1. 研究の背景・目的.....	1
1.2. 研究の構成	1
1.3. 本報告書で整理を行った補強土壁工法.....	1
2. 補強土壁	2
2.1. 工法概要	2
2.1.1. 概要	2
2.1.2. 補強土壁工法の種類.....	5
2.1.3. 設計における照査の概要.....	6
2.1.4. 使用材料、構造細目等.....	10
2.1.5. 施工	20
2.2. 橋台背面アプローチ部として用いるにあたって検討が必要な事項.....	21
2.3. 検討事項に対する分析等.....	30
2.3.1. 橋台背面アプローチ部の補強土壁の地震による変状実態の分析	30
2.3.2. 現行設計法に基づいて設計された補強土壁のレベル2地震動に対する安全性の 検証	69
2.3.3. 補強材の引抜き抵抗力の評価手法の前提条件.....	105
2.3.4. 両側に壁面を有する構造の補強土壁の地震時挙動の分析	118
2.3.5. 隅角を有する構造の補強土壁の地震時挙動の分析.....	148
2.3.6. 補強土壁の抵抗のメカニズムにおいて前提となる沈下の条件（①水平変位に伴う 沈下）	161
2.3.7. 補強土壁の抵抗のメカニズムにおいて前提となる沈下の条件（②ゆすり込み沈下 の実態、狭隘部の締固め）	178
2.3.8. 補強土壁の抵抗のメカニズムにおいて前提となる沈下の条件（③基礎地盤の沈下）	191
2.3.9. 橋台背面アプローチ部と補強土壁の接続部に関する検証（橋台と補強土壁の接続 部の開き）	214
2.3.10. 土中に設置した鋼製補強材の供用期間中にわたる経年的な変化への対処方法	236
2.3.11. 維持管理方法の整理.....	266
2.4. 検証結果を踏まえた橋台背面アプローチ部としての配慮・検討事項.....	276
2.5. 継続的課題	280
巻末資料	
参考資料-1 鋼製壁面材の交換事例及び維持管理に考慮した構造の例.....	282